

みんなでつくる田名の会 第6回企画会議 議事概要

日 時：平成18年7月26日（水） 午後7時～午後8時45分
会 場：田名公民館 小会議室

1 次の検討テーマについて

会の発足時から「安全・安心」をテーマとして議論を重ね、その結果を防犯協会の活動に結びつけるなど、とりあえず「安全・安心」のテーマについては一区切りついたため、次のテーマについて議論したい旨の提案があった。

第5回企画会議や第2回全体会議等において次のテーマとして挙げられたものを中心に議論を行った。

- ・街美化（花植え運動）や、相模川河川敷の整備については、「田名のあすを拓く委員会」ですでに実施している。事業を実施するとなるとどうしても人手が必要となり、大変である。
- ・街美化について、この会で今後発行していく情報紙の中で植栽ボランティアを募集する程度に抑え、実際の活動は「田名のあすを拓く委員会」などの団体に任せて、活動をサポートしていけば良い。
- ・田名にある多くの団体の横の連携を取っていくことがこの会の趣旨であるから、各団体の活動などを情報紙に積極的に載せ、活動参加者の募集などをしていったら良いのではないか。
- ・街美化アダプト制度など、市の助成制度はたくさんあるが、その存在や内容を多くの人が知らない。そういうものを全体会や情報紙などで積極的に紹介していけば、もっと地域が活性化するのはないか。
- ・この会自体は収入源がない。今後の課題となる。「市民企画提案型補助制度」を利用し、情報紙などの印刷代などに充てることも考えなければならない。
- ・「防災」というテーマは広く、多くの分野を含む。「街美化」については、受け皿がある。
- ・以前、「小さい子供への自転車の乗り方教室」を実施するという話があった。自転車の模擬免許を交付したり、現在小学校3年生で実施している自転車の乗り方教室を低学年で実施するというのはどうか。
- ・ひとつの具体的な活動テーマにしてしまうと、会の方向性が限定されてしまう。この会では具体的な活動を行わず、問題の抽出を行う連絡調整役となり、活動は各団体に依頼していくのが良いのでは。
- ・各団体をつなぐ役目であると同時に、活動も積極的にやっていく必要があるのでは。プラン提供だけでは、やっていけないのではないか。
- ・各団体は、各々の通年の活動をするので精一杯である。この会から各団体に個々の活動を依頼すると、この会のコンセンサスが地域で十分に得られていないため、モデル事業が終了して市の後ろ盾がなくなった時には、逆にこの会の存在根拠を問われる可能性もある。
- ・我々がプランを作り、主催者となり、参加者や講師を各団体から募るような形がベストではないか。ただし、他の団体も忙しく、地域を思う心に温度差があるのも事実である。
- ・この会にしかできないことをするべきである。田名地域の多くの団体のことを一度に広報できるのはこの会しかない。広報を中心に据えてみてはどうか。
- ・「防災」については、幅が広すぎるため、どこまでやるのか、明確にする必要がある。
- ・「防災」をテーマにするのであれば、一度専門家の意見を聞いて見てはどうか。

2 活動の大まかなスケジュールについて

企画会議は月1回、全体会は3ヶ月に1回程度の間隔で開催することとした。

3 今後の日程について

次回については、もう一度企画会議を実施することとした。

日時：8月21日（月）午後7時～
場所：田名公民館 小会議室